

平成21年度 事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名		柏原市商工会
	代表者職・氏名		会長 木村建三
	所在地		〒582-0007 柏原市上市1丁目2-2
	担当者	職・氏名	事務局長 細田純司
		連絡先	電話番号(直通) :
Fax :			072-973-1201
		E-mail :	kisci@silver.ocn.ne.jp
設立年月日		昭和36年5月1日	
職員数 (うち経営指導員数)		7名(7名)	
所管地域		柏原市	
管内事業所数		2,500(平成18年事業所統計調査)	
管内小規模事業者数		1,860(平成18年事業所統計調査)	
会員数(組織率)		1,354(54.16%)	
、 、 、 については直近の数字を記載のこと			
主な事業概要(定款記載事項等)			
<p>地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資し、もって国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。この目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。</p> <p>商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 商工業に関する情報又は資料を収集し、提供すること。 商工業に関する調査研究を行うこと。 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあつせんを行うこと。 商工業に関する施設を設置し、維持し又は運用すること。 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 行政庁等の諮問に応じて、答申すること。 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む。)を処理すること。 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

各種データ

柏原市商工会

経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	16	0	20	24	141	0	0	0	14	215	141	社
建設業	0	12	5	13	14	26	1	1	0	16	88	60	社
小売業	2	22	2	31	27	15	1	0	0	9	109	72	社
卸売業	0	0	2	1	0	9	0	0	0	6	18	13	社
サービス業	0	22	0	22	24	18	0	0	0	4	90	70	社
その他	0	4	0	3	3	3	0	0	0	1	14	11	社
小計	2	76	9	90	92	212	2	1	0	50	534	367	社
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	社
合計	2	76	9	90	92	212	2	1	0	50	534	367	340

その他の内訳

建設許可・販売促進

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	1	3	0	31	42	258	3	2	0	21	361	218	社
建設業	1	8	0	39	31	92	0	0	0	13	184	130	社
小売業	0	6	0	20	43	46	0	0	0	9	124	87	社
卸売業	0	0	0	5	7	26	1	1	0	2	42	29	社
サービス業	0	8	1	31	34	53	1	0	0	4	132	86	社
その他	0	1	0	5	10	31	0	0	0	2	49	35	社
小計	2	26	1	131	167	506	5	3	0	51	892	585	社
創業	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	3	社
合計	2	26	1	132	168	507	5	3	0	51	895	588	521

その他の内訳

建設許可・販売促進

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

柏原市商工会

(1) 事業の目標

商業活性化事業として、駅前周辺での「とくとく市」の実施にあたり、商店街からの出展がやや固定化してきたため、参加商店の多様化をはからなければならないと考えている。実施場所においても、現在地以外でも実施できるよう検討の余地有と考えている。

またJOB・マッチング・サテライトでは、昨年末からの急激な景気の悪化により、求人企業が減少するなか、求人依頼に相当な労力が必要となった。地域の活性化にと励んでいるが、企業に多大な負担を強いるようで心苦しく、実施にあたり工夫が必要である。

観光資源、経営革新認定事業所には、販路開拓に力を注ぎ、地域活性化の要となるよう取組んでいく。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

各指導員が巡回で把握した事業所(店)の情報(休日・忙しい時間帯)、抱えている課題をさらに指導員間で情報の共有に努め、事業所(店)への満足度の向上に努めた。

商業活性化事業については、「とくとく市」の認知度を高めるため地元大学生の協力で各種催しを実施し、集客力アップを心掛けた。また、創業希望者のための体験の場、新商品の市場調査の場としての利用促進を図っている。

(3) 事業を実施した効果

巡回を強化することにより、事業所(店)が抱えている問題をいち早く把握し、必要な施策の利用・斡旋と専門家による指導を促すことにより、早期解決に繋がっている。

また、商業活性化事業「とくとく市」では、各出展者の認知度、売上のアップには効果が認められる。また、創業希望者や新商品の開発のための市場調査の場としての役割については、来客者とのやり取りの中から新商品開発に繋がるアイデアが生まれている。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

専門的な相談については各種無料相談を毎月決まった日に開催しているが、急を要する場合専門家とコンタクトを取りTEL等で対応しているが、十分な解決に至っていない場合がある。

商業活性化事業(とくとく市)については、出店者個々の経営改善には効果が認められるが、商店街や地域商業全体へのハッキリとした影響は認められない。また、若年・中年者の市内での購買活動の増進に繋がっていない。

(5) 来年度への取り組み

地域活性化事業
高齢化、人口減少がつづく本市において地元住民の消費活動のみでは、商店街や各商店の発展・維持は困難であるが、市外からの来客者増加も考慮に入れた事業内容を考え、活性化を図りたい。

柏原市商工会

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

日頃忙しい小規模事業者を巡回し、各種施策の情報提供や世間話をするなかで小規模企業者がどのような支援を求めているかが良くわかり、適切な支援が行えた。また巡回する事により親密さが増し、気軽に来所やTELを頂くことにより事業所(店)にとっては、いろんな情報の入手と、専門家(各種無料相談)のアドバイスを受けて頂くことにより満足を得ている。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	760	534	70.3%	80.0	4
窓口相談	相談件数	1,850	895	48.4%	60.0	3

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

金融支援・無担保・無保証人、低金利の融資を毎月1回斡旋することで、経営の改善と事業の発展を図った。
 記帳支援・継続的な記帳指導により、3年後には自主的に記帳が行えるように支援した。
 法務支援・高度・複雑な法務面に係る様々な課題の解決と事業所の負担を軽減し、効率的な経営に資した。
 税務支援・税務面における様々な課題を解決することにより、事業所の負担を軽減し、効率的な経営に資した。
 労務支援・労務面における様々な課題を解決することにより、事業所の負担を軽減し、効率的な経営に資した。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	斡旋件数	30	25	83.3%	80.0	4
記帳支援	継続	指導件数	80	80	100.0%	80.0	3
法務支援	継続	相談件数	12	6	50.0%	70.0	3
税務支援	継続	相談件数	22	7	31.8%	60.0	3
労務支援	継続	相談件数	10	2	20.0%	50.0	3

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

厳しい雇用情勢のなか、企業の存続と従業員の雇用を確保するため、雇用調整助成金説明会を開催した。
 また、関心のある事業所については個別相談会を開催した。
 その結果、6社の企業が雇用調整助成金の申請をした。
 参加企業 25社
 個別相談 5社
 雇用調整助成金申請企業 6社

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	パソコン講習	継続	参加人数	20		0.0%		
	雇用調整助成金説明会	新規	参加企業	25	25	100.0%	80.0	4
	インフルエンザと労務管理講習会	新規	参加企業	20		0.0%		

地域活性化事業

支援のポイント・成果

商業の活性化のみならず地域の活性化を図るため、駅前である立地を活かし、柏原市連合商店会・柏原市・商工会が連携して商業活性化として「とくとく市」を開催。毎月約250人の来場者があり、創業を目指す体験者の参加もあった。工業についても、職安・労働事務所・柏原市・商工会が連携して「JOB・マッチング・サテライト」を開催し、今年は求職者の支援(就職支援セミナー)にも力を入れた。
 就職支援セミナー 来場者数 208人(4月～9月 8月なし)
 JOB・マッチング・サテライト 来場者数 57(9月)・参加企業数10社・面接数56名・就職決定数6名

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	商業活性化促進事業	継続	来客数	2,400	1,250	52.1%	70.0	3
	JOBマッチングサテライト	継続	採用人数	20	6	30.0%	60.0	3
	展示・商談会事業	継続	参加企業数	4		0.0%		
	柏原産業フェア	継続	相談人数	50		0.0%		
	その他(経革支援事業)	継続	認定取得企業	2		0.0%		
	その他(地域力連携拠点)	新規	相談人数	6	4	66.7%	70.0	3

柏原市商工会

事業名	JOB・マッチング・サテライト				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	20 年 (開始) ~ 23 年 (終了)		今年度 2 年目		
実施期間全体を通じて予定している事業計画	地元ハローワーク管内(松原市・羽曳野市・藤井寺市・柏原市)4市合同による若年者JOB・マッチング・サテライトの開催を予定している。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	柏原市の中心地である柏原駅前の立地を活かし、安定所・市・商工会が連携し安定所求人未登録企業を訪問(JOB・マッチング・サテライトの活用及びPR)することにより、雇用の拡大を図った。求人企業については、多くの求職者と直接面接する事が出来、自社をPRすることで認知度も上がり、求職者についても多くの企業との面接が可能となり就職の拡大に繋がっている。また、参加企業・参加就職希望者・採用人数についても、当初の目標を上回る成果となった。			
本事業の対象となる地域の現状や課題	市内大手企業(自動車関連)による段階的な解雇により、多くの失業者が出ているのが現状である。 また、景気低迷により雇用調整助成金の申請もあり、求人企業が減少していることから、参加企業の確保が課題となる。				
目標に対する実績	指標	採用人数			
	目標数値	20	実績数値	6	達成率 30.0%
目標	就職支援セミナー参加者	540人	実績	208人	
	企業説明会	6社		1社	
	JOB参加企業	20社		10社	
	参加求職希望者	200名		57名	
	採用人数	20名		6名	
	企業訪問	100名(2回)		0名(0回)	
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	余儀なく解雇された失業者に、専門家による面接に必要な履歴書・職務経歴書の書き方や自己PRの仕方及び心得をテーマにした就職支援セミナーを4月~9月の毎月第3月曜日に開催。その後企業説明会(企業PR等)と専門家による企業相談会(社員教育等)を実施。JOB・マッチング・サテライトは9月の第3木曜日開催した。6月の就職支援セミナー及びJOB・マッチング・サテライトについては、新型インフルエンザのため中止となった。				
マスコミ等に取り上げられた回数	1回(市広報)				
PR方法とその影響	商工会(ホームページ・会報)、柏原市(広報・ホームページ(参加企業等))、安定所(河内柏原・東大阪・河内長野)チラシを配布。 その結果、河内柏原公共職業安定所管内以外の市町村からも来場者があった。				
利用者満足度(点)	60				
事業評価	3				
実施した効果	実施から2年目となり、他市からの求職者が増加し、求人・求職活動ツールとして認知度が上がってきた。 しかし、仕事に必要な免許・資格等を必要とする求人企業も多く、採用に至らなかった。				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	景気低迷により雇用調整助成金の申請を行っている企業が多く、求人企業が減少していることから、企業訪問の中止及び参加企業の確保が課題となる。 求職者増、求人企業減の状況下において近隣市の求人企業の参加及び合同開催を求めることで、マッチング件数を維持し、今後採用件数が増加するよう実施方法を研鑽し取組んでいきたい。				
事業全体の収支状況	収入(予定)	支出(実績)			
	小規模補助金	800,000円	活動費	660,000円	
	商工会負担金	228,000円			
	計	1,028,000円	計	660,000円	